

カリキュラム

A バックオフィス	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
新技術活用	

コースのねらい	DX(デジタルトランスフォーメーション)による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得する
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 DX概論	(1) デジタル技術の変遷 インターネットが発明されてからのデジタル技術の変遷と、昨今になりDXが叫ばれるようになった背景を解説する。 (2) 我が国で起きている事 2018年経済産業省の「DXレポート」で述べられている事、「2025年の崖」について解説し、日本の企業が直面するであろう問題を指摘する。 (3) 中小企業にとってDXはハードルが高いのか？ 以上の状況を踏まえ、中小企業にとってDXはどの程度の課題を持っているのかを検証する。	1.5
	2 DX導入事例	(1) 既存事業からのアプローチ事例 国内外の事例から既存事業の延長線上において行われたDXの取り組み事例を紹介する。 (2) 革新的事業への取組事例 国内外の事例から全く新たな革新的事業に取り組んだDXの取り組み事例を紹介する。	1.0
	3 DX戦略の導入	(1) DXの目標設定と取組体制 自社の強みを認識し、自社がどのようなDX目標を設定し、推進体制をどのように構築すべきなのか演習を通じて認識する。 (2) 自社はDXに対してどのような戦略ととるべきか？ DX設計についてのフレームワークを用い、自社の戦略を描く。 (2) DXを支えるデジタル技術と利用できるツール DXを支える技術群と比較的容易に導入できるツールを紹介する。そのうえで自社のDX戦略にあったツールを選択する。	3.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
前半でDXという言葉が効かれるようになった背景、および取り組み事例を示しDXに対する理解を深める。後半ではフレームワークを用い自社のDX戦略を立ててみる演習を行い、自社の取り組むべき方向性を見定める。

講師から一言
DXの担当者がどのように目標設定を行い、推進していくのがよいかを1から解説いたします。